

【隠津島神社から山頂へ】

東和町木幡には、旗祭りでお有名な隠津島神社（別名木幡の弁天様）がある。この隠津島神社の左奥からは、木幡山への登山口となる。

経塚への小さな案内板があるので、それを身印に、急な上り坂を登ること二十五分ほどで、蔵王経塚に着く。ここからは、北に向かつて尾根道を進むと約十五分で木幡山の山頂に着く。

生活の中の木幡山・福沢羽山

羽山神社（東福沢字麓一）の祭礼日は、四月十五日である。

「羽山ごもり」は、旧暦十一月十六日のお昼から一年権立がおこもり堂になっている地藏堂に集まり、焚き物を集めたり、明日はいて登るワラジを作ったり、カップの木で木刀（実は男根）を作ったりして、夕方水垢裡をとり夕飯を食べて不眠の（原則はそうであるが、コタツで居眠りをしたり、トランプ、カルタで遊ぶ者もある）

おつとめにはいる。

（川俣町史資料）

大綱木の「羽山ごもり」は旧暦十一月十七日～十八日、木幡の旗祭りに合流する羽山ごもりであって、それにのりわらによる御託宣が間にはさまるのである。十一月十八日の朝早く水ごりをとり、御祈禱をあげ朝食をたべる。朝食が終わると昼食のための餅をつき出発の準備である。腰に木刀をさし頭に鉢巻き、薄着に草鞋をはき五色の幟を立てて桐の木のホラを吹き、法印の祈禱の詞を唱和しつつ十時に出発。不動坂から木幡山に登る。途中立木に放れ駒のお札をはさんで登る。子供たちは放れ駒のお札をほしがって群がって奪い合う。木幡山頂で木幡の旗祭りの俱と出会い羽山様に向う。羽山様につくと御祈禱と唱和がありおがんで木幡神社へ下り御祈禱。礼拝して山頂を北に向って西五十沢羽山様で御祈禱をあげ大綱木へ向って下りる途中の岩場で権立よばりをして、中組に下りておこもり堂にもどり餅を食べる。（川俣町史資料）

木幡の弁天様春祭りは、四月二十九日に行われる。